

関東商組創立60周年記念増刊号

KANTOU

かんとう



増刊号

発行 関東製紙原料直納商工組合
2023.7.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介
東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>

式典・祝賀会

時 間 午後4時30分～7時00分
会 場 2階 ラングウッドルーム

司 会 斎 藤 大 介

式 典

開会の辞	近 藤 勝
理事長挨拶	大久保 信 隆
表 彰（1）60周年記念表彰状・感謝状授与	大久保 信 隆
公益財団法人古紙再生促進センター	
株式会社 商工組合中央金庫	
東京都中小企業団体中央会	
表 彰（2）功労者表彰	畑 俊 一 様・他
受賞者代表謝辞	畑 俊 一 様
来賓祝辞	
衆議院議員	甘 利 明 様
経済産業省 製造産業局素材産業課 課長	吉 村 一 元 様

祝 賀 会

乾 杯	日本製紙連合会 理事長	小 川 恒 弘 様
祝 宴	御来賓紹介	近 藤 豊
	祝電披露	梶 野 隆 史
	アトラクション	よさこい鳴子踊り演舞
中締め	全国製紙原料商工組合連合会 理 事 長	栗 原 正 雄 様
万歳三唱		藤 川 達 郎
閉会の辞		朝 倉 行 彦

組合創立60周年を迎えて



関東製紙原料直納商工組合

理事長 大久保 信隆

第60回総会と記念講演会「人口減少時代に生き残るには」平野和之先生の講演と祝賀会の記念大会が日暮里アートホテルラングウッドで行われました。

60周年記念式典はコロナ禍の中、実行委員会を立ち上げました。コロナの中やるのか「いつ」「何処で」「人数は」と心配しながら実行委員会では慎重に準備を進めました。まず、通常総会に合わせて実施と一年前に会場を押さえました。われらは古紙問屋のエッセンシャルワーカーとして対策を講じればできると二会場を使って広い空間を確保しました。

ただスムーズに流れるように出来るかが心配でした。幸い5月8日からコロナウイルスは2類から5類になったお陰で、以前から組合活動を中心的に担って頂いた功労者の方々や取引先関係の方々が元気に多数来て頂いたので大変に盛り上がりました。

余興はコロナをふっとばす「よさこい踊り」とわが仲間志村社長が衣装仕立ての「古紙はる」が飛び入り参加し、いっそう楽しく和やかになりました。これらの運営は実行委員と事務局の

方々お陰です。本当にありがとうございました。

私は50周年と60周年と2度に渡って理事長を務めさせて頂きましたが、ウィズコロナの中、組合員や功労者の方々と対面で行えたことが一番良かったです。

IT革命の時代を迎え紙の生産が減る中、古紙が量的に製紙原料として主流になりました。しかしながら不確定要素の多い中、我々は循環型社会の形成を推進していくために事業活動の一層の持続性を高めていかなければならないと思います、当日の式典の挨拶で3つの提言をしました。

1つは品質向上を図るために古紙商品化適格事業所の充実を図ること、2つ目は需給予測を行い内外の需給を正確に読み、無駄な過当競争を慎むこと事、3つ目は組合員各社が安全を最も重視した職場環境の向上に努めることです。

以上の点を今後も組合活動の核にしていけば直近のインボイス制度、2024年物流問題、30年カーボンニュートラルも皆で乗り切れると思います。

70周年に向けて頑張りましょう。

(2023年6月21日)

組合創立60周年記念式典を盛大に挙行

関東製紙原料直納商工組合は5月18日、東京都内のアートホテル日暮里ラングウッドで行われた定時総会（本号48頁）ならびに講演会の終了後、会場を別室に移し、多数の来賓を招いて組合創立60周年記念式典と祝賀会を盛大に挙行した。式典は斎藤大介副理事長の司会で進行、近藤勝副理事長が開会の辞を述べた後、大久保信隆理事長が登壇して挨拶。続いて、長年にわたり組合の事業をサポートしてきた3団体（古紙再生促進センター、商工組合中央金庫、東京都中小企業団体中央会）から組合に対し、表彰状と感謝状が授与された。さらに組合の重鎮として、長年その活動と発展を支えてきた歴代の功労者に対し、組合より表彰が行われた。

〈組合功労者〉（敬称略）☆畑俊一〈山室〉☆栗原正雄〈栗原紙材〉☆山室泰洋〈山博〉☆瀧本義継〈富澤〉☆須長利行〈二見〉☆今井文男〈今井〉☆須賀清文〈須賀〉☆増田唯之〈増田商店〉☆新井勝夫〈新井商店〉☆土方十四江〈下田商店〉

祝賀会では冒頭、日本製紙連合会の小川恒弘理事長が乾杯の発声を行い、自由歓談に移行。祝電披露や、よさこい鳴子踊り演舞などのアトラクションで座が一段と盛り上がる中、中締めとして全国製紙原料商工組合連合会の栗原正雄理事長が挨拶。最後に藤川達郎副理事長の音頭で万歳三唱が行われ、朝倉行彦副理事長の閉会の辞で祝賀会を終えた。

以下、各氏の発言要旨を紹介する。

【理事長挨拶】 大久保 信隆・理事長
70周年、100周年に向かって

今後とも循環型社会をリードする
紙生産が縮減する中、われわれ組合員が扱う

古紙は製紙原料の主流として、ますます重きを成している。これは当組合にとって大いなる名誉である。59年間にわたり製紙原料商の仕事に携わってきた私は今、感謝と幸福感で一杯の気持ちだ。



当組合は今、三つの重点課題に取り組んでいる。一つは各種認定制度の取組みである。現在、関東商組の傘下に古紙商品化適格事業所266カ所、古紙品質管理者787名、古紙リサイクルアドバイザー1,128名を擁しており、資源になるか・ならないかの選別を基に、SDGsも見据えながら雑がみの回収を増やしている。

二つ目は、製紙メーカーの生産計画をベースにした古紙回収量を統計学的手法で予測し、過当競争に陥らないようにすること。わが国の古紙輸出全体に占める関東商組の出荷シェアは、10年前は60%だったが、今は50%程度。このシェア低下は、組合として段ボールは国際商品、新聞は国内向けと呼びかけているからだ。この方針を今後さらに徹底していくことが重要と考えている。そして古紙持ち去り問題は年内に決着をさせる。

三つ目として最も重要なのは安全の確立。安全防災委員会では、かねて大型車輛、パッカー車、大型梱包機、ショベルカー／フォークリフトなどの使用に関する安全DVDを作成しているが、スマートフォン用に短く編集した簡易版も用意し、組合員が安全最優先で作業を行うための意識改革と体質強化に取り組んでいる。

今年は10月からインボイス制度が始まる。物流の2024年問題にどう対応するか、さらに2050年のカーボンニュートラルをどう実現していくのか課題は山積しているが、持続可能な事業の推進に向けて取り組むという気概を持たなければいけないと思う。関東商組は今後とも循環型社会をリードし、70周年、100周年に向かっていかないと生き残れない。皆さん、頑張りましょう。

【受賞者代表謝辞】 畑 俊一 〈株山室〉

60年の歴史を学びつつ、

新たな時代の変化に対応を

関東商組の創立60周年、誠におめでとうございます。また先ほどは丁重なる表彰を賜り、受賞者を代表して御礼申し上げます。さて関東商組の歴史を紐解くと、山室仁作さんが古紙業界の社会的地位向上や近代化を目指し、組合の組織化に若い情熱を燃やして行動した結果、昭和38年に38歳の若さで初代理事長に就任された。以来、歴代の皆さま方の尽力により、今日晴れて

60周年を迎えることができた。私は今年ちょうど80歳になるが、今から31年前の平成4年から10年までの6年間、当組合の理事長を務めさせていただいた。当時は古紙の余剰と低価格に苦しむ厳しい時代だったが、本日は組合活動で日夜協力していただいた同世代の同志の皆さんに久しぶりでお会いでき、大変嬉しく思っている。関東商組の60年は人間で言えば還暦。組合の若い方々には60年の歴史を振り返って学んでいただくとともに、時代の変化に対応できる新しい歴史をつくっていただきたい。これからも全国をリードする関東商組として、ますます発展されるよう祈念する。

【乾杯】 小川 恒弘・日本製紙連合会 理事長 リサイクル社会の深化・発展に向け

さらなる活躍を

関東商組の創立60周年に際し心よりお慶びを申し上げます。私は通産省（現 経済産業省）に在籍していた1991年、課長補佐としてリサイクル法の条文作成に携わった。そして今から30年



表彰を受けた功労者が登壇。中央は謝辞を述べる畑俊一〈株山室〉氏。左端から大久保信隆理事長、〈功労者〉栗原正雄〈栗原紙材〉、瀧本義継〈富澤〉、須長利行〈二見〉、増田唯之〈増田商店〉、新井勝夫〈新井商店〉、今井文男〈今井〉、須賀清文〈須賀〉（代理）、土方十四江〈下田商店〉（代理）

前、関東商組で言えば30周年に当たる93年には初めてリサイクルの名前が付いた再資源化対策室長に就任、これから本格的にリサイクル社会をつくっていくという旗振り役を務めた。



古紙業界には、その当時からリサイクル社会のトップランナーとして貢献していただいている。今は縁あって製紙連に在籍しているが、製紙関連業界には現状、直面する課題が山積している。それらの課題を克服しリサイクル社会をより深化・発展させていくためには、関東商組の皆さまの一層のご活躍ご奮闘が欠かせないと思っている。

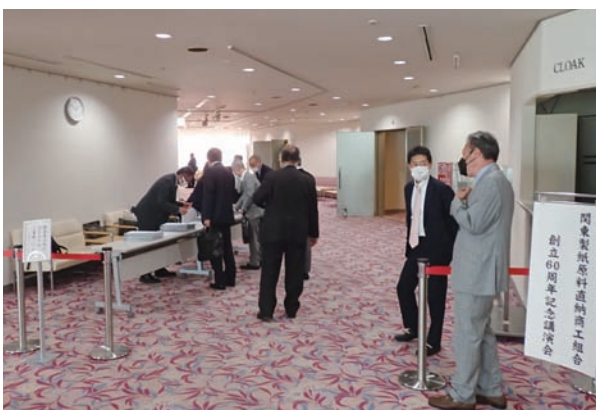
【中締め】 栗原 正雄・全国製紙原料商工組合連合会 理事長

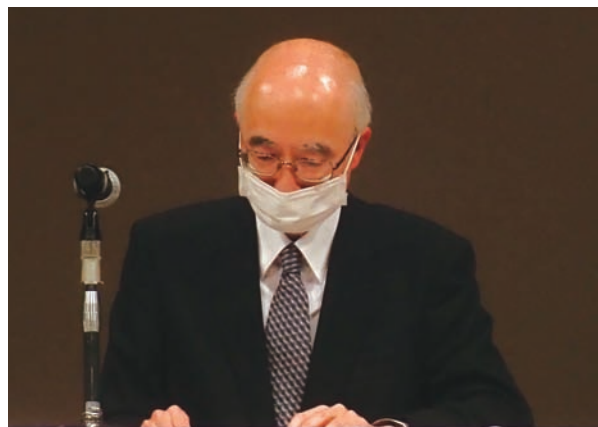
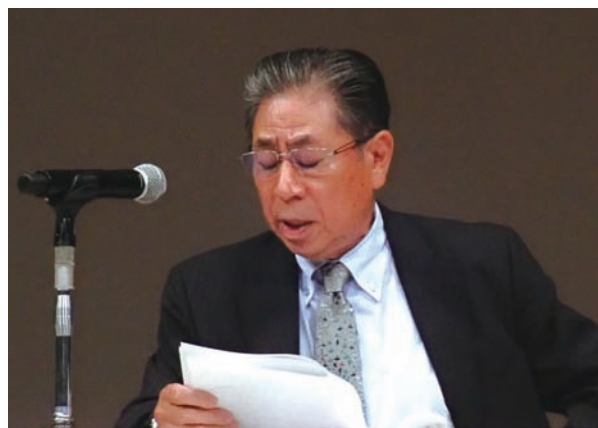
次の60年を目指し新たな歴史を刻んで

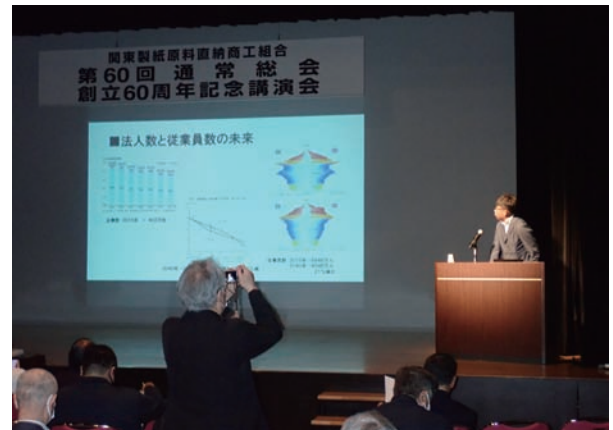
全原連を実質的に運営しているのは関東商組に所属する理事の方々だ。換言すれば全原連と関東商組は一心同体の関係にある。この60年間、本日ここに参集されている皆さま方の絶大なご支援ご協力により大過なく組合活動を続けてこられたこと、心より感謝し御礼申し上げます。



昔は人生60年と言われていた。その意味では、やっと一人前になったのかなとも思う。これからは次の60年を目指し、現役世代と将来世代がともに手を携えて新たな歴史を刻んでほしい。60年後の創立120周年に際しても、ここに居られる何人かはきっと存命されていると思う（笑）。どうか健康に留意されて、多くの方々にその日を迎えていただきたい。





















関東商組10年の歩み

50周年から60周年まで

凡例：★関東商組関連 ☆古紙・環境関連 ●紙関連 □社会一般

2013

(平成25年)(昭和88年)

単位:t

紙・板紙国内消費:27,202,871

古紙回収量:21,864,266

回収率:80.4%

古紙消費量:17,073,670

利用率:63.9%

古紙輸出量:4,890,000

【1月】

□中国海軍がレーダー照射。日中、日韓とも年内関係緊張続く。

□アルジェリアの天然ガス施設で人質事件、邦人10人犠牲に。

●三菱製紙八戸工場の新設 PPC 生産ライン稼働、生産能力約3,000t/月。

●1月、レンゴーと日本マタイが共同開発した放射線遮蔽シートが福島県の保育園で採用。

☆1月、リンテックが土居加工工場と吾妻工場に太陽光発電システムを本格導入。

★17日、関東商組がホテルラングウッドで新年賀詞交歓会を開催。安全防災委員会と経営革新委員会による安全と省エネルギーを目的としたペーラー3社のプレゼンテーションを実施。

★30日、全国製紙原料商工組合連合会（以下全原連）が浅草ビューホテルで新年賀詞交歓会。

★古紙再生促進センターが地方自治体紙リサイクル施策の調査報告書を刊行。古紙持ち取り問題、資源化に関する施策の実施状況と、雑誌と雑がみの回収実態について調査。持ち取り問題が発生していないとする回答が49.6%ある一方、「年々増加している」とする回答も約1割。

【2月】

☆王子グリーンソースが宮崎県日南市に発電事業を目的とするバイオマスボイラー設置を決定。

☆日本紙パルプ商事、メガソーラー事業に参入。

【3月】

★関東商組、GPSを用いた対人・対物追跡システムを利用して古紙の持ち取りを追跡調査。3月から埼玉県で本格運用、そのほか賛同を得られた自治体の地区へも順次拡大した。

★関東商組が製紙メーカー17社へ品質維持と安定供給を目的に古紙価格の復元を（2012年秋以前の価格へ）要請。

☆日本製紙がケミカル事業本部岩国事業所にパルプを原料とするセルロースナノファイバー（以下CNF）実証生産設備新設。

●25日から日本製紙がグループ各社の本社を御茶ノ水ソラシティに移転。

☆三ツ矢産商が解散。

【4月】

□異次元緩和でアベノミクス始動、円安・株高へ。

□福島第1原発の汚染水漏れ、貯蔵も深刻に。

●日本製紙、研究開発本部の専任組織としてCNF事業推進室を設置。

●大王製紙、コーポレート・ガバナンス体制強化のため、社外取締役の伊藤齊氏を業務執行取締役に変更。

★4日、自治体に対する「GPSによる古紙持ち取り行為の追跡調査に関する説明会」を開催。

☆全原連が中央労働災害防止協会正会員（2号会員）に加入。



TV 放映された GPS 発信器の映像

☆特種東海製紙、三島工場に太陽光発電設備を設置、電力会社への売電を開始。

【5月】

★16日、関東商組が設立50周年記念式典、祝賀会を開催。

★全原連が第36回通常総会を福岡県のホテルニューオータニ博多で開催。

☆日本製紙と三菱商事が共同で、徳島県小松島市に四国最大規模のメガソーラープロジェクト。

●国際紙パルプ商事社長に田辺円氏が内定。

【6月】

□ウィキリークスのスノーデン容疑者が米情報収集を暴露。

●経済産業省製造産業局紙業服飾品課課長に渡邊政嘉氏が着任。

☆古紙再生促進センター代表理事に岩瀬廣徳氏（日本製紙代取副社長）が就任。

●王子製紙社長に瀧上一雄氏、王子マテリア社長に小関良樹氏が就任。

★3日の東京新聞や21日TBS・Nスタなど新聞・TVが持ち取り古紙GPS調査の報道を始める。

【7月】

□日本、TPP交渉に参加。

□エジプトで政変、アラブの春のモルシ政権が崩壊。

□21日、参院選で自民圧勝し「ねじれ」解消。

★4日、六地区懇談会をシェラトンホテル広島で開催。

☆王子グリーンリソースが北海道江別市でバイオマス発電事業。

●日本紙パルプ商事がコアレックスグループを通じ、静岡県富士市で家庭紙工場再開業に着手。

★12～14日、渉外広報・IT委員会が韓国の機密処理事情を視察。

【8月】

□シリアで化学兵器使用、米は介入検討するも断念。

☆日本製紙が三菱商事および中部電力と、石炭を燃料とする 10 万 kW 級火力発電所の新会社を設立へ。発電設備は日本製紙・富士工場鈴川の敷地内に建設し運転・保守を日本製紙が受託。

【9月】

□7日、2020 年夏季五輪の東京開催が決定。

★3R 推進団体連絡会が 3R 制度研究会報告書を関係省庁に提出。

★11 日～12 日、安全防災委員会が大本紙料(株)の視察研修会。

☆「環境デーなごや」に愛知県古紙協同組合、名古屋リサイクル協同組合、中部製紙原料商工組合、古紙再生促進センターが共同出展。

【10月】

□14 年 4 月消費増税実施決定。

□16 日、伊豆大島の土石流など自然災害で被害相次ぐ。

●日本製紙が板紙事業本部を再編強化し、段原紙営業本部と白板・産業用紙営業本部を新設。

★10 日、古紙再生促進センターが「平成 25 年度紙リサイクルセミナー」を開催。

★需給委員会の定期定点調査、21～23 日に中国・上海、20～23 日タイ、11 月 12～16 日中国・広州、同 17～21 日ベトナム。

【11月】

★「第 2 回 日中古紙セミナー」を中国浙江省杭州市で開催。

☆大王製紙がナノセルロースのサンプル提供開始。

★19 日、六地区懇談会をホテル日航高知で開催。

★27 日、安全防災委員会が防火・救命セミナーに参加。

【12月】

□6 日、特定秘密保護法が成立。

●日本製紙が連結子会社の十條サーマル社(本社・フィンランド)を完全子会社化。

●大王製紙が中国のインターネット通販や店舗での『G00.N』模倣品販売会社に対し、行政摘発請求。模倣品没収等の処罰決定書が下る。

☆3 日、山室が創業 100 周年ならびに関東商組・全原連の元理事長・畑俊一氏の旭日小綬章受章感謝の夕べを開催。

□19 日、徳洲会 5,000 万円で猪瀬都知事辞職。

2014

(平成26年)(昭和89年)

単位 :t

紙・板紙国内消費:26,916,751

古紙回収量:21,749,508

回収率:80.8%

古紙消費量:17,191,788

利用率:63.9%

古紙輸出量:4,619,000

【1月】

★2 日、NHK ニュース関東版で持ち去り古紙 GPS 追跡を報道。

☆国際紙パルプ商事が、むさし野紙業とコスモリサイクルセンターの合併を発表。

●静岡県富士市で「第 1 回富士山紙フェア」開催。

★16 日、関東商組が新年賀詞交歓会を開催。

☆30 日、全原連が新年賀詞交歓会を浅草ビューホテルで開催。

【2月】

□ウクライナ危機。クリミア半島にロシアが軍事介入。

□西アフリカでエボラ出血熱。

★21 日、持ち去り古紙を繰り返し買入れた事業者名を初公表。以後年内 8 回発表が続く。

☆王子グリーンリソースがグランパと共同で農業法人設立、太陽光利用型植物工場を設置へ。

☆日本製紙大竹工場の太陽光発電が稼働。

●三菱製紙が八戸工場と関連子会社の事業を再編。

☆日本紙パルプ商事が持株会社「㈱エコリソース JP」を設立。

★13 日、安全防災委員会が府中市でリフト重機講習会を開催。

●1 日、中越パルプ工業社長に加藤明美氏が就任。

【3月】

☆三菱製紙と中越パルプが DBJ 環境格付で最高ランクに格付。

☆特種東海製紙が島田工場にバイオマスボイラーを建設。

☆大久保が新設の座間事業所に業界初の溶解処理設備を設置。

☆日本製紙のバイオ燃料の要素技術開発が NEDO 事業に採択。

★5 日、座談会『団塊世代+α』われらかく頑張れり - あの時代を語る」を開催。

★19 日、第 17 回古紙流通環境情報交換会。

【4月】

□16 日、韓国旅客船セウォル号が沈没。

●1 日、王子パッケージング社長に畑迫信二氏が、王子木材緑化社長に鎌田和彦氏が就任。

●1 日、レンゴー大坪清社長が会長を兼務。

☆1 日、エコパワー JP 社長に安岡敬二氏が就任。

●1 日、三栄レギュレーター社長に黒崎泰氏が就任。

●24 日、日本製紙社長に馬城文雄氏を内定。

【5月】

●日本製紙が北海道工場勇払事業所内にセルロースパウダーの製造設備を新設。

★15 日、関東商組が第 51 回通常総会を開催。

☆全原連が第 37 回通常総会を札幌市の全日空ホテルで開催、九州担当の副理事長を新規設置。

●12 日、日本製紙連合会会長に進藤清貴氏が就任。

【6月】

★2 日、渉外広報・IT 委員会が王子マテリア江戸川工場見学。

●大手段ボール 6 社が公取委の排除措置と課徴金納付命令受領するも反論。

●1 日、レンゴーペーパービジネス社長に三好康裕氏が就任。

【7月】

□STAP 細胞論文の捏造発覚。

★3 日、ホテル日航熊本で六地区懇談会を開催。

●大王製紙が中国の並行輸入業者に対する訴訟で和解成立。

☆「機密情報抹消事業協議会 <KJMK>」発足。



2014年9月2日、「三紙会の30年を振り返る～歴代会長の座談会」を開催。

【8月】

□米軍がイラク領内でISを標的に空爆開始。

●大王製紙が中国とタイでベビー用紙おむつの生産設備増強。

□20日、広島で土砂災害。

★25日、東京ガーデンパレスで古紙未来懇話会主催の講演会。

【9月】

□香港で民主派が道路占拠。

□錦織圭が全米オープンテニス準優勝。

★2日、「三紙会の30年を振り返る～歴代会長の座談会」を開催。

☆丸住製紙の太陽光発電所第2弾が完成、四国電力に売電。

●日本紙パルプ商事の「日本橋日銀通りビル」が竣工。

★19日、第18回古紙流通環境情報交換会を開催。

★経営革新委員会がベラー比較検討会で各社の装置を見学。

□27日、御嶽山が噴火。

【10月】

●明治製紙が「特種東海エコロジー㈱」に社名変更。

☆日本紙パルプ商事が再生家庭紙専門販社「㈱くらしネットJP」を設立決定。
☆国際紙パルプ商事が千葉県市原市に機密文書処理施設を開設。

●いわき大王製紙が3号マシン竣工披露パーティ開催。

□10月末、日銀の追加金融緩和を機に円安・株高が急速進行。

【11月】

□4日、米中間選挙で共和党が過半数

奪還、下院も多数派。

□2015年10月予定だった消費税率10%への引き上げを17年4月まで1年半延期。

☆日本製紙が石巻工場のフライアッシュを震災復興工事に提供。

●三菱製紙八戸工場で火災発生。

●レンゴー、タイでの段ボール工場計15工場に拡大。

☆日本紙パルプ商事が欧州で古紙販売事業を拡大。

●佐藤健・三菱製紙元社長が2014年秋旭日中綬章。

●北越紀州製紙が中国の白板紙工場・江門星輝造紙の竣工式。

★18日、六地区懇談会をガーデンシティ品川で開催。

☆19日、古紙再生促進センターが星陵会館で「第3回日中古紙セミナー」を開催。

☆日資連青年部が創立30周年記念式典・祝賀会開催。

☆23日、全原連が中小企業庁長官賞を受賞。

【12月】

□マララさんがノーベル平和賞。

★8～11日、需給委員会が輸出共販事業の一環として、定期定点調査で中国・上海地区を視察。

●王子エフテックスが東海工場D-1号抄紙機を停止へ。

●特種東海製紙・島田工場でチップサイロ火災が発生。

●日本紙パルプ商事が複合書店「BOWL」を埼玉県にオープン。

☆古紙再生促進センターの輸出委員会が発足、第1回会合。

●製紙連がアジア3カ国対象に古紙回収システム研修会実施。

☆エコプロダクツ2014開催。

●16日、王子HD社長に矢嶋進氏を内定。

★古紙持ち取り行為の根絶に向け、特別区18区・古紙問屋・製紙メーカー・資源回収事業者の4者が連携すべく覚書を締結。

2015

(平成27年)(昭和90年)

単位:t

紙・板紙国内消費:26,313,574

古紙回収量:21,400,940

回収率:81.3%

古紙消費量:17,091,777

利用率:64.3%

古紙輸出量:4,261,000

【1月】

□外国人観光客激増、爆買いも。

□欧州でシリアからの難民急増。

●中越パルプ工業がナノセルロースとPPの複合材料を開発。

☆テトラパックの100%再生可能資源製容器が世界初採用。

★15日、関東商組がホテルラングウッドで新年賀詞交歓会開催。

☆29日、全原連が浅草ビューホテルで新年賀詞交歓会を開催。

★1～3月、需給委員会が定期定点調査でベトナム、台湾、タイ、中国・広州を視察。

【2月】

☆日本製紙と三菱商事が共同出資で、四国最大級のメガソーラーを徳島県小松島市で稼働。

☆テトラパックが全包材工場と現地法人が FSC・CoC 認証取得。

★持ち去り古紙を繰り返し買い入れた事業者名を公表。以降第9回から年内第14回まで6回発表。

【3月】

□チュニスで博物館襲撃、邦人3人犠牲に。

●日本製紙が吉永工場と富士工場の統合を発表。

●三菱製紙が高砂工場の生産設備の一部休止。

●レンゴーグループの丸三製紙で、ライナーの生産設備が竣工。

【4月】

☆日本製紙と三菱商事が石巻で石炭・バイオマスの混焼発電事業に着手。

●レンゴーがベトナムで段原紙の新生産設備を建設。

●日本製紙が TEMPO 触媒酸化処理によるセルロースナノファイバー (CNF) を実用化。

●日本紙パルプ商事が複合書店「BOWL」をオープン。

●1日、王子製紙社長に青山秀彦氏、王子マテリア社長に野沢高史氏が就任。

●1日、丸紅紙パルプ販売社長に大島響氏が就任。

【5月】

●王子HDと中越パルプ工業の資本・業務提携が正式決定。中パは王子の持分法適用会社。

☆日本製紙が八代工場にバイオマス発電所を竣工。

●大王製紙と大王（南通）生活用品有限公司が、輸入業者とのベビー用紙おむつ『G00. N』の中国・並行輸入訴訟で和解。

●三菱製紙が八戸工場3号抄紙機を15年7月から一部再稼働。

●兵庫パルプ工業が本格稼働に入ったパルプドライマシン新1号機の竣工披露式を開催。

★14日、関東商組が第52回通常総会を開催。

☆21日、全原連が第38回通常総会を仙台市で開催。



2015年6月、IT活用部会が岡山の明和製紙原料を視察・取材。

【6月】

□中国主導のアジアインフラ投資銀行 (AIIB) が創設。

☆機密情報抹消事業協議会が定期総会開催。

☆日本再生資源事業協同組合連合会「第43回 全国〈札幌〉大会」開催。

☆16日、古紙再生促進センター代表理事に王子HD・渡良司副社長が就任。

●19日、新生紙パルプ商事社長に加藤康次郎氏が就任。

●22日、日本製紙木材社長に藤澤治雄氏が就任。

★23日、IT活用部会が岡山の明和製紙原料を視察・取材。

【7月】

□東芝で不正会計が発覚、歴代社長が辞任。

□五輪の新国立競技場建設計画や大会エンブレムが白紙に。

□中国経済にブレーキ。

●王子製紙が富岡工場7号機を16年3月に停止と発表。

☆中越パルプ工業が『竹紙』の新ブランドを立ち上げ。

●コアレックスグループの富士工場が営業運転を開始。

☆エコパワーJPが鉾路音別太陽光発電

所の営業運転を開始。

☆機密情報抹消事業協議会が一般社団法人へ移行。

●「第86回都市対抗野球大会」に日本製紙石巻（石巻市）、王子（春日井市）が出場。

☆國光が水耕栽培野菜工場「富士ファーム」の完成披露。

★23日、六地区懇談会を名古屋キャッスルプラザで開催。

【8月】

□11日、九電川内原発が再稼働。

●王子HDと日光ケミカルズが、化粧品原料としてセルロースナノファイバーの共同開発に合意。

●大王製紙と三菱商事がインドネシアの紙おむつ事業を合併化。

☆日本容器包装リサイクル協会が年次レポートで活動報告開始。

【9月】

★1日、組合HP更新し古紙持ち取り車両ナンバー検索機能稼働。

□9～10月、ラグビーW杯で日本代表が歴史的勝利。

□独VWの排ガス不正が発覚。

●大王製紙が東京本社を移転。

●王子HDがウエットパウダー状CNFサンプル提供開始。

●日本製紙が消臭シートで世界初のCNF実用化、大人用紙おむつなどを新発売。

★1日、関資連との情報交換会、組合会議室で開催。飯田俊夫日資連会長が出席、持ち取り行為の撲滅対策を議題に。

★安全防災委員会がAEDを設置。



2015年9月18日、関資連と情報交換会



同年9月、安全防災委員会がAEDを組合に設置、講習会を行った。

【10月】

□大村智栄誉教授や梶田隆章・東大研究所長がノーベル賞受賞。

□アンカラで自爆テロ、エジプトではロシア旅客機が爆破。

●日本製紙と特種東海製紙が提携合意、段原紙・クラフト紙で生販子会社設立へ。

●コアレックスグループ各社が社名変更、信栄製紙は「コアレックス信栄㈱」に。

☆古紙センターが「紙リサイクルセミナー」を開催。

★6日、六地区懇談会を近畿で開催。

□米軍基地の辺野古移設、着工。

【11月】

□ベイルートやパリでテロ発生。

□IMFが中国の人民元をSDRに2016年10月から追加と決定。

★18～21日、南京市で第4回 中日古紙セミナー開催。

★21日、安全防災委員会が池袋防災館で防火・救命セミナー。

●大阪製紙が洋紙事業から2016年3月で撤退。

☆機密情報抹消事業協議会が国際セミナー開催。

●王子HDがリン酸エステル化法のCNF実証生産設備を導入。

【12月】

☆12日、COP21でパリ協定採択。

●大王製紙による転換社債の発行で損害を受けたとして、北越紀州製紙が賠償を請求。

☆「エコプロダクツ2015」開催。

●王子製紙の米子工場がフルフルールの連続製造技術を確立。

☆日本製紙石巻工場でコンクリート用混和材・高品質フライアッシュ「CfFA」製造設備完成。



2016年2月、需給委員会による定期定点調査。(写真はタイ班)

2016

(平成28年)(昭和91年)

単位: t

紙・板紙国内消費: 26,131,677

古紙回収量: 21,233,289

回収率: 81.3%

古紙消費量: 17,159,746

利用率: 64.2%

古紙輸出量: 4,138,000

【1月】

●特種東海製紙・島田工場が再建したチップサイロの内覧会。

★21日、関東商組が新年賀詞交歓会を開催。

☆28日、全原連が新年賀詞交歓会を開催。

□29日、日銀マイナス金利導入。

【2月】

☆日本製紙が紙パック9拠点でFSCとPEFCのCoC認証取得。

●レンゴーが淀川工場の閉鎖を含む生産体制再構築を決定。

☆経産省が新たな古紙利用率目標65%への省令改正でパブリックコメントを募集。

●12日、特種東海製紙社長に松田裕司氏の就任決定を発表。

★需給委員会がタイ、上海、広州で定期定点調査実施。

【3月】

□ベルギー・ブリュッセルで同時テロ、30人以上が死亡。

●王子製紙が2017年3月を目途に春日井工場4号機を停止。

☆王子グリーンリソースと三菱製紙がバイオマス発電事業の合併事業会社を設立。

●日本製紙が草加工場と足利工場を統合、「関東工場」に。

☆日本製紙が秋田で風力発電事業を開

始、2018年発電開始予定。

☆レンゴーが尾崎工場にガスタービン発電設備を、八潮工場に木質チップバイオマスボイラ発電設備を新設。

●中越パルプ工業が川内工場にCNF第1期商業プラント建設へ。

☆新生紙パルプ商事が太陽光発電事業を開始。

●「第31回生存圏シンポジウム」とCNFテストプラント稼働の発表会を開催。

【4月】

□14日、熊本地震。

☆日本製紙出資のタイ・PPPC社に木質バイオマス燃料の生産実証設備を設置、共同研究開発へ。

☆日本紙パルプ商事グループが米アリゾナに古紙事業拠点開設。

●1日、王子パッケージング社長に松原一彰氏が、王子エコマテリアル社長に田口満氏が就任。

★17日、三紙会総会を開催。次期会長に平松邦明氏が就任。

【5月】

●日本製紙が石巻工場に世界最大級のCNF量産設備建設を決定。

●大王製紙が休止中の川之江工場に最新鋭の家庭紙生産設備を新設へ。また三島工場のCNFパイロットプラント稼働を発表。

●レンゴーがトライウォール社を248億円で完全小会社化。

●特種東海製紙が2017年3月末に島田工場10号抄紙機の停機を決定。

●興亜工業と春日製紙工業が更紙で合弁、更ファクトリー設立。

★25日、府中市や関東商組などが「古紙の持ち取り防止に関する協働・連携協力協定」を締結。

★18日、関東商組が第53回通常総会を開催。山室泰洋・瀧本義継両副理事長が退任、新副理事長に近藤勝氏・斎藤大介氏。

☆19日、全原連が第39回通常総会を石川県金沢市で開催。

□オバマ米大統領が広島を訪問。

【6月】

□政府が消費税率10%引き上げを19年10月まで先送り。

★10日、六地区懇談会をシェラトンホテル広島で開催。

●経産省の組織再編で紙パルプ関連を

「素材産業課」が所管。初代課長に茂木正氏が就任。

●日本紙パルプ商事が東京・日本橋室町でビル建替計画着工。

☆16日、古紙再生促進センター新専務理事に岡村光二氏（王子エコマテリアル前社長）が就任。

【7月】

□フランス・ニースで花火見物にトラックが突入し86人死亡。

●日本製紙と特種東海製紙が段原紙・クラフト紙の事業統合へ向けて「日本東海インダストリアルペーパーサプライ(株)」設立。

☆大王製紙が森林認証紙の供給体制を拡充。また三島工場ではバイオマス発電設備を増強。

★持ち去り古紙を繰返し買い入れている事業者の公表（第15回）

【8月】

□5日、リオで夏季五輪開幕。

☆王子HDが生態系トラスト協会とヤイロチョウ保護協定。

●日本製紙が江津事業所に食品・化粧品向けCNF量産設備設置を決定。CMC製造技術を応用。

【9月】

□米ニューヨークで2001年以来のテロが発生。

★9～10日、渉外広報・IT委員会IT活用部会が北海道取材。

●王子マテリアが板紙原紙の全工場でFSCのCoC認証を取得。

☆日本製紙・旧鈴川工場跡地に火力発電所が竣工。

【10月】

●王子HDがCNF透明連続シート of 量産化設備を導入決定。

●大王製紙が川之江工場と埼玉県行田市の製品加工工場に最新鋭の家庭紙生産設備を新設、2018年10月稼働。

☆「あらかわりサイクルセンター」開設披露式典・施設見学会・完成祝賀会開催。

☆「2016年度 紙リサイクルセミナー」開催。

【11月】

☆4日、地球温暖化対策のパリ協定が発効。

□米大統領選でトランプ氏勝利。

★8日、六地区懇談会をネクストホテル松山で開催。

★12日、安全防災委員会が池袋防災館の防火・防災体験セミナーに参加。

★13日、東京都中小企業団体中央会表彰式で増田唯之前理事、新井勝夫理事、佐久間浩前理事が同会会長賞を授与。

★16日、2020年対策アンケート調査を実施。

★17日、古紙再生促進センターが憲政記念館講堂で「第5回中古紙セミナー」を開催。

★26日、府中市3R推進大会に参加、大久保理事長が古紙リサイクルについて講演。

●レンゴーの合併会社、ベトナムのピナクラフトペーパー社の段ボール原紙新生産設備が稼働。

【12月】

□9日、韓国・朴槿恵大統領の弾劾案可決。

●日本製紙が富士市にCNF強化樹脂の実証生産設備を設置。2017年6月稼働予定。

☆日本RPF工業会「第2回安全大会」開催。

☆「エコプロ2016」開催。

★19日、三紙会と安全防災委員会が協働でベラーメーカー説明会を実施。

2017

(平成29年)(昭和92年)

単位: t

紙・板紙国内消費: 26,023,267

古紙回収量: 21,047,273

回収率: 80.9%

古紙消費量: 17,266,364

利用率: 64.1%

古紙輸出量: 3,734,000

【1月】

□20日、トランプ米政権発足。

●王子グループが富岡工場内にCNF実証生産設備を設置。

●日本製紙がインド最大の紙カップメーカー「Plus Paper Foodpac Private Limited」買収。

●中越パルプ工業がCNF量産化設備稼働に向け、ナノフォレスト事業部を新設。

●特種東海製紙が島田10号抄紙機の

停機に伴い、ファンシーペーパー3銘柄を製造終了へ。

★19日、関東商組が新年賀詞交歓会を開催。

★27日、全原連新年賀詞交歓会を開催。

☆国際紙パルプ商事が木質バイオマス発電燃料の販売を開始。

【2月】

★持ち去り古紙を繰返し買い入れた事業者を公表（第17回、7月に第18回）。

★14～18日、需給委員会がベトナム（ホーチミン）視察旅行。

★24日、三紙会が2月度定例会で「輸出古紙から見た2017年の古紙市況展望」の勉強会。

●9日、日本紙パルプ商事社長に渡辺昭彦氏を内定。

【3月】

☆王子ネピアとWWFジャパンがFSC普及促進に向けた商標ライセンス契約を締結。

●日本製紙が米国・日本製紙USAの事業を1米ドルで譲渡。

●レンゴーが東京本社を移転。

☆日本東海インダストリアルペーパーサプライが、日本・新東海のFSC段原紙の販売開始。

●日本製紙が富士・大竹・関東工場にCoC認証を取得。

【4月】

★10～15日、需給委員会が米国西海岸の製紙原料商・古紙ヤードなどを視察旅行。

●北越紀州製紙がCNFなどの新機能材料開発室を新設。

●日本製紙・石巻工場にCNF量産設備が稼働。

●日本製紙クレシアが春日製紙工業と合併、クレシア春日設立。

●大王製紙が日清紡ペーパープロダクツの買収を完了。



大久保理事長が旭日双光章を受章。（写真は全原連総会での花束贈呈）

●丸紅と中越パルプ工業が CNF の用途開発と販売業務で提携。

●1日、王子マテリア社長に小関良樹氏、王子コンテナ社長に伏野裕氏、王子グリーンリソース社長に進藤富三雄氏が就任。

【5月】

●中国が古紙輸入許可の更新を中止。以降輸入制限が現実になる。

□9日、韓国で文在寅政権発足。

●王子HDがマレーシア・TP社の株式4分の3超を取得へ。

●三菱製紙と王子ネピアの合併会社「エム・ピー・エム・王子ホームプロダクツ(株)」設立。

●日本紙パルプ商事がグループブランド「OVOL」導入を発表。

★大久保信隆・関東商組理事長が旭日雙光章を受章。

★18日、関東商組が第54回通常総会を開催。

☆25日、全原連が第40回定時総会を浜松市で開催。

【6月】

●日本製紙が「新素材営業本部」立ち上げ、CNFなど拡販を目指す。

★13～14日、安全防災委員会が安全体感技藝体験セミナー参加。

【7月】

★6日、六地区懇談会を九州で開催。

□7月5～6日、九州北部豪雨。

□森友・加計・日報問題が自民党・安倍政権を揺るがす。

●日本製紙が富士工場に CNF 強化樹脂の実証生産設備を稼働。

☆丸紅グループが敦賀市でバイオマス発電所の商業運転を開始。

●大王製紙が CNF 高配合成形体のサンプル提供を開始。

【8月】

□日産、神戸製鋼などで製造現場の不正行為が相次ぎ発覚。

●日本製紙が白板紙事業の一元化を発表。また秋田工場1号塗工機と石巻工場2号塗工機の18年5月末の停機を発表。

☆日本製紙が林野庁九州森林管理局沖縄森林管理署と西表島の森林保全で協定を締結。

☆NPO法人「持続可能な社会をつくる元気ネット」が雑がみ連携事業セミナー

ー」をコアレックス信栄・富士工場で開催。

●大王製紙が三島工場内に CNF 乾燥体のパイロットプラントを設置、17年12月稼働予定。

【9月】

□国連総会でミャンマーのロヒンギャ迫害が批判される。

□北朝鮮が6回目の核実験強行。

●日本製紙・江津工場で食品・化粧品向け CNF 量産設備が稼働。

☆日本製紙石巻雲雀野発電所が試運転開始で火入れ式を挙行。

●富士フィルムビジネスサプライから事業を引き継いだエム・ピー・エス(株)が営業を開始。

☆「環境デーなごや2017」に中部商組などが出展。

☆古紙流通安全協会が大阪市と連携・協力協定を締結。

★23日、帝国ホテルで大久保理事長の旭日雙光章受章、並びに(株)大久保法人化50周年記念祝賀会を開催。



同年9月、帝国ホテルでの受章祝賀会にて。

【10月】

□中国共産党大会で習近平氏が「1強」を確立。

□違法残業で電通に有罪、働き方改革へ機運。

☆製紙連が「インドネシア紙リサイクルシステム研修コース」開催（経産省からの受託事業）。

☆古紙再生促進センターが紙リサイクルセミナーを開催。

●紙パルプ技術協会が「創立70周年記念年次大会」開催。

☆王子ネピアなど57社が参加したFSCの2017年総会で「バンクーバー宣言」を発表。

□22日、衆院選で自民党大勝、民進党が分裂。

【11月】

●レンゴーが金津工場2号機のライナ

ー併抄改造工事を完了。

●中越パルプ工業が二塚製造部2号抄紙機の停止を発表。

●旭洋紙パルプが「旭洋(株)」への社名変更を発表。

★1～4日、第6回 日中古紙セミナーが中国で開催される。

★古紙不足対策「輸入 ONP ブレンド品テスト」でオーストラリア品、アメリカ品を開梱調査。

★17日、六地区懇談会（東京）で安全防災委員会がベラー企業との意見交換会開催。

□30日、NYダウが2万4,000ドル突破。

【12月】

☆丸富製紙が再生家庭紙初のFSC/CoC認証を取得。

☆「エコプロ2017」開催。

☆日本製紙が紙製バリア素材『シールドプラス』の販売開始。

2018

(平成30年)(昭和93年)

単位: t

紙・板紙国内消費: 25,331,923

古紙回収量: 20,673,299

回収率: 81.6%

古紙消費量: 17,044,684

利用率: 64.3%

古紙輸出量: 3,779,000

【全般の状況】

前年から始まった中国の古紙輸入制限が本格化を見せる。

【1月】

●日本製紙が富士工場に新機能性材料『ミネルパ』の実証生産設備を設置。

●大王製紙が自社 CNF の名称を『ELLEXX(エレックス)』と命名。

★18日、新年賀詞交歓会を開催。

☆25日、全原連が新年賀詞交歓会を開催。

【2月】

□9日、韓国・平昌冬季五輪開幕。フィギュア・羽生結弦連覇。

●レンゴーがタイの段ボール関連会社の株式を取得し100%子会社化、第2工場を竣工。

☆兵庫パルプ工業が5号バイオマス発電設備の竣工披露式開催。

☆機密情報抹消事業協議会がセミナーを開催。



栗原正雄・全原連理事長が旭日中綬章を受賞。(写真は関東商組総会)

【3月】

□3月23日、米トランプ政権が輸入制限発動、米中摩擦が激化。
 ☆日本製紙石巻エネルギーセンターの石巻雲雀野発電所でバイオマス混焼発電設備の竣工式。
 ●全段連が物流問題改善への協力を求める要請文を作成。
 ☆中部製紙原料商工組合が持去り古紙買入事業者を公表。
 ★14～18日、三紙会がベトナムへ海外視察・研修旅行。Lee&Man とビナクラフトペーパー訪問。
 ★26～27日、IT活用部会が研修旅行。イノベタス、特種東海製紙三島工場とPamを見学。

【4月】

☆日本製紙ウェンティ風力(株)が秋田市で風力発電所の竣工式。
 ●大王製紙が三島工場16号抄紙機を休止。
 ☆日本テトラパックがアルミ付き紙パック回収キャンペーン。
 ☆「持続可能な社会をつくる元気ネット」の消費者懇談会開催。コアレックス信栄のほか卸業者や物流業者も参加。

★広報誌「かんとう」200記念号発行。このほか特集記事で中国の古紙輸入規制を取り上げた。

【5月】

●新東海製紙が島田6号機での印刷用紙と一部加工原紙の生産を2019年3月末で終了と発表。
 ●クレシア春日で新家庭紙生産設備が稼働。
 ★栗原正雄・全原連理事長が旭日中綬章を受章。
 ●日本製紙連合会が矢嶋進新会長就任記者会見を開催。
 ☆17日、全原連が第41回通常総会を開催。
 ★25日、関東商組が第55回通常総会を開催。講演は山發日本(株)監 瓊娥氏の「品質に見る中国の古紙輸入事情について」など。

【6月】

●双日がベトナム最大手の家庭紙・段原紙会社を買収。
 ●19日、日本製紙クレシア社長に山崎和文氏が就任。

【7月】

□5日、西日本豪雨死者220人超。
 ●1日、北越紀州製紙が北越コーポレーションへ社名変更。(以降北越Coと表記)
 ●北上製紙が全事業から撤退。
 ●日本紙パルプ商事の「OVOL(オヴォール)日本橋ビル」竣工。
 ☆レンゴーがセロファン製造技術を応用した新しいCNFを開発。
 ☆リンテックが再生PETフィルム使用

のラベル素材シリーズにアルミ蒸着タイプを追加。

★12日、六地区懇談会を名古屋キャッスルプラザで開催。

★24日、需給委員会が商社との懇談会を開催。

【8月】

●レンゴーが「65歳定年」導入。
 ☆丸升増田本店「創業100周年記念祝賀会」開催。

【9月】

□4日、大型台風21号襲来し関空が冠水、孤立。6日、北海道で震度7の地震、道内全域停電。
 □8日、テニス・大坂なおみが全米オープン優勝。
 ☆大王製紙が三島工場内に国内最大級の嫌気処理設備を設置へ。
 ☆中越パルプ工業が『マブカ』事業を本格化。
 ●三菱製紙が八戸工場4号抄紙機の休止を発表。また印刷・情報用紙で輸送調整金を導入。
 ☆丸紅が脱石炭火力発電を表明、再生可能エネルギーに注力。
 ☆「環境データ2018」で雑がみ分別体験コーナーなど実施。
 ☆日本紙パルプ商事が生分解性プラスチック『BioPBS』使用の紙コップを開発。
 ●18日、王子ネピア社長に用名浩之氏が就任。
 □28日、インドネシア地震・津波、死者2,000人以上。

【10月】

□1日、ノーベル生理学・医学賞に本庶氏。
 ●日本製紙と丸紅が大昭和丸紅インターナショナルを4.65億加ドルで米国・マーサーに譲渡。
 ☆日本製紙が富士工場で新機能性材料『ミネルパ』の実証生産設備を完成、用途開発本格化へ。
 ★10日、東京都中小企業団体中央会表彰式で同会会長賞を齋藤米蔵副理事長、小池茂男理事、海原健二理事、土方十四江前理事が受賞。
 ★20日、栗原正雄・全原連理事長の旭日中綬章祝賀会を東京プリンスホテル鳳凰の間で開催。
 ☆東家同と静岡の再生家庭紙メーカーが協力し「再生紙サンプルイベント」開催。



2018年11月20日、古紙再生促進センター主催の「日中古紙セミナー」が星陵会館で開催されて盛況。

★ 29 日、古紙再生促進センターが「紙リサイクルセミナー」を開催、大久保理事長が講演。

【11 月】

□ 6 日、米中間選挙で上院は共和、下院は民主が勝利。

★ 8 日、六地区懇談会を近畿で開催。

● 王子 HD がインドに段ボール工場新設へ。

● 大王製紙が三島 N7 号抄紙機を改造し、板紙・クラフト紙へのシフトを発表。

● 兵庫パルプ工業の谷川本社工場が操業再開。

□ 19 日、日産・ゴーン会長逮捕。

★ 14～15 日、安全防災委員会が移動委員会を実施、中部商組と合同で委員会を開催。

★ 20 日、古紙再生促進センター主催の「日中古紙セミナー」が星陵会館で開催され盛況。

【12 月】

● 王子 HD と APP グループが合併会社「PT Oji Sinar Mas Packaging」を設立、インドネシアで段ボール事業開始へ。

● 国交省と関係省庁が連携しドライバーの労働時間短縮と物流効率化のための懇談会を開催。

☆「エコプロ 2018」開催。

2019

(令和1年) (平成31年)
(昭和94年)

単位: t

紙・板紙国内消費: 24,900,712

古紙回収量: 19,794,252

回収率: 79.5%

古紙消費量: 16,613,118

利用率: 64.3%

古紙輸出量: 3,141,000

【1 月】

□ 3 日、韓国裁判所が徴用工問題で国内の日本企業資産差し押さえを認め、日韓関係悪化。

● 大王製紙三島工場で火災事故発生。動力設備ヤード内の廃棄物燃料の破碎機から出火。

● 日本紙パルプ商事の連結子会社、大豊製紙が新原質棟建築と設置工事を完了、稼働開始。

● 丸紅がベトナムで段原紙製造・包装資材販売事業を開始。

★ 17 日、新年賀詞交歓会を開催。

☆ 24 日、全原連が新年賀詞交歓会を開催。

● 30 日、丸紅 執行役員フォレストプロダクツ本部長に寺垣毅氏が内定。

【2 月】

☆ 古紙再生促進センターがロウ引き段ボールへの注意呼びかけ。

☆ 神奈川県製紙原料商業組合が創立 70 周年記念イベント開催。

★ 4～5 日、渉外広報・IT 委員会が大分製紙を視察。

【3 月】

● 王子 HD が三菱製紙の株式 33% を取得、持分適用会社へ。

☆ 王子 HD と伊藤忠エネクスがバイオマス発電所を設置し発電事業実施へ。

● 日本製紙が江津工場に高機能性セルローズ (CMC、商品名『サンローズ』) 製造設備新設へ。

● 日本製紙が米国の連結子会社、日本ダイナウェーブパッケージングでドライパルプマシン新設。

☆ グリーン購入法関係省庁等連絡会議が古紙の需要逼迫を受け、印刷用紙調達の柔軟化を確認。

□ マリナーズイチロー引退表明。

【4 月】

● 丸紅が紙パルプ本部を「フォレストプロダクツ本部」に改称。

● 王子製紙春日井工場で火災、影響で王子ネピア名古屋工場も生産停止。

● レンゴー松本分工場が中部事業部・松本工場となる。

● 丸住製紙が川之江工場の 5 号抄紙機を 19 年 9 月で停止へ。

● 1 日、王子 HD 社長に加来正年氏が就任。

● 15 日、日本製紙社長に野沢徹氏が内定。

【5 月】

□ 1 日、天皇陛下が即位。「令和」に改元。

● 三菱製紙と王子ネピアの合併、エム・ピー・エム・王子ホームプロダクツが営業運転開始。

● 王子製紙春日井工場、王子ネピア名古屋工場が生産再開。

☆ 日本製紙が双日と「勇払エネルギー

センター合同会社」でバイオマス専焼発電事業を展開。

● 北越 Co が段原紙事業への参入を発表。新潟工場で 3 月末から停機した 6 号抄紙機を改造し、2020 年 1 月に生産開始予定。

★ 16 日、関東商組が第 56 回通常総会をホテルラングウッドで開催。

☆ 全原連が第 42 回通常総会をホテルナゴヤキャッスルで開催。

● 26 日、三菱製紙社長に立藤幸博氏が内定。

【6 月】

★ 出前講座を青梅市で実施。

● 27 日、興亜工業社長に蔵元正隆氏が就任。

【7 月】

● 大王製紙と北越 Co の CB 訴訟、控訴審で大王勝訴、北越が上告。

☆ 丸紅プラックスが中部日本プラスチックとプラリサイクルなどで業務提携。

● 5 日、経済産業省製造産業局長に高田修三氏、同素材産業課長に吉村一元氏が着任。

★ 5 日、六地区懇談会をホテルグランピア広島で開催。

● 23 日、日本製紙連合会理事長に小川恒弘氏が就任。

【8 月】

● レンゴーが独で重量包装会社を買収、国内外で M&A を加速。

☆ 日本印刷産業連合会が印刷業界の「容器包装リサイクル法への対応状況」の報告会を開催。

★ 経営革新委員会が出前講座を船橋市、厚木市で開催。

【9 月】

□ 1 日、米中両政府が貿易で対立し制裁・報復第 4 弾発動。

● 大王製紙が川之江、可児の 2 工場に衛生用紙生産設備増設へ。

☆ 中部商組など紙関連団体が「環境デーなごや 2019」に出展、雑がみ分別体験コーナー実施。

● 19 日、元 大王製紙社長の井川高雄氏が死去。

□ 20 日、ラグビー W 杯日本大会開幕、日本 8 強に。

☆ 23 日、16 歳グレタ・トゥンベリさん、国連で地球温暖化対策の実行を求め演説。

【10月】

□1日、消費税率10%スタート。
□10月13日、東日本で台風19号大雨被害、死者相次ぐ。

●王子マテリア名寄工場の3号マシン停機、2号マシンを王子製紙苫小牧工場へ移設を決定。

★1日、東京都功労者表彰式で藤川達郎副理事長が東京都功労者表彰（産業振興功労）を授与。

★10日、東京都中小企業団体中央会表彰式で梶野隆史・斎藤大介 両副理事長が同会長賞授与。

★21日、渉外広報・IT委員会で大王製紙(株)三島工場を訪問。

★26日、安全防災委員会で安全セミナーを開催。

★車両用燃料等の共同購買開始。

【11月】

●王子HD、中越パルプ工業、三菱製紙が3社合弁会社を通じて輸入木材チップの共同調達開始。

★20日、中国・江蘇省無錫市の無錫恒通花園酒店ホテルで「第8回日中古紙セミナー」を開催。

★28日、JRホテルクレメント高松にて六地区懇談会を開催。

【12月】

□香港で学生らが大規模デモ。

☆王子HDと石塚硝子が協同で、紙容器関連事業の合弁会社設立。

☆日本製紙が鈴川エネルギーセンターの発電事業をバイオマス専焼化へ。

●製紙連が「ホワイト物流」推進運動で自主行動宣言を提出。

☆名古屋リサイクル協同組合がテレビ番組に協力、古紙持ち去り常習犯の実

像を全国放送。

☆「エコプロ2019」開催。



【全般の状況】

「2020年は中国が12月31日を最後に全世界から古紙の輸入を禁止するということと確定している環境下でスタートした一年でしたが、新型コロナウイルスの大流行により、日本というより世界が地球的規模で経済活動の停滞を非常に強いられた中での企業経営の一年でした」（かんとう211号 経営革新委員長・新井重樹氏）

【1月】

★16日、関東商組が新年賀詞交歓会を開催。

☆23日、全原連が浅草ビューホテル祥雲の間で新年会を開催。

●王子製紙が苫小牧工場N-1マシンを同年9月末目途に停止へ。

☆王子HDの紙製品がプラ代替としてネスレ日本の『キットカット』のパッケージに採用。

★29日、特別区清掃リサイクル主管課長会、東京二十三区清掃一部事務組合との紙リサイクル意見交換会が開催。

□31日、英国がEUを離脱。

【2月】

□新型コロナ感染拡大。SNS上のデマ情報を発端に2月下旬から家庭紙が全国的に品薄となり社会問題に。

★13日、三紙会が王子マテリア、大分製紙・豊前工場を見学。

●20日、レンゴー代取社長兼COOに川本洋祐氏が内定。

□28日～5月、新型コロナで政府が全国小中高の休校要請。

□高校野球が春夏中止。プロスポーツ界でも延期や中止相次ぐ。

【3月】

□11日、WHOが新型コロナウイルスのパンデミック表明。

●新型コロナウイルスの感染拡大を受け、紙パ各社がテレワークの実施など感染予防対策発表。

☆日本製紙が読売新聞社と新聞古紙リサイクル「クロズド・ループ」システム4月から運用。

●26日、丸住製紙社長に星川知之氏が就任。

□29日、コメディアン志村けんさんがコロナ感染で死去。

【4月】

□20日、東京五輪・パラリンピックが延期発表。

□21日、新型コロナ感染拡大、政府が緊急事態宣言発令。

●新型コロナ感染拡大で逼迫する医療現場に対し、紙パおよび関連企業各社が衛生用品や簡易パーテーション、フェイスシールドの寄付・販売など、自社の特性を活かした支援策を相次いで発表。またリモートによる入社式や、決算発表や催事等の延期・中止が相次ぐ。

●王子グループが江蘇王子製紙有限公司を6月まで稼働停止。中国の急激な需要減に対応。

●日本製紙が板紙販売業務を日本東海インダストリアルペーパーサプライに移管。

●1日、王子マテリア社長に船田高男氏が、王子製紙社長に森平高行氏が就任。

【5月】

●大王製紙が三島工場の衛生用紙設備増設を発表、ペーパータオル原紙生産に特化へ。



2019年11月20日、中国・江蘇省無錫市の無錫恒通花園酒店ホテルで「第8回日中古紙セミナー」が開催。これが最後の開催となった。



2020年7月28日、安全防災委員会がパッカー車説明会を開催。同年における数少ない対外的な活動のひとつとなった。

●クレシア春日の2号抄紙機が稼働開始、長尺ロールを生産。

●国土交通省、経済産業省、厚生労働省が合同で紙パの物流効率化のためのガイドライン策定。

●14日、中越パルプ工業社長に植松久氏が内定。

●20日、製紙連が新会長に日本製紙社長の野沢徹氏を選出。

★21日、関東商組が第57回通常総会と理事会を书面議決で開催。

☆28日、全原連が第43回通常総会と理事会を书面議決で開催。

□25日、米国で警官に拘束された黒人男性が死亡、抗議拡大。

【6月】

●緊急事態宣言解除を受け、紙パ各社が今後の対応を発表。

☆サントリーやレンゴーなど業界の垣根を超えた12社が、使用済みプラの再資源化事業に取り組む新会社「㈱オールプラスジャパン」設立を発表。

●王子ネピアがオール日本製のアイソレーションガウンと不織布マスクを発売へ。

☆日本製紙と三菱ケミカルが共同で循環型包装材を開発。

☆日本製紙がストローレス対応の学校給食用紙パック『NP-PAK-mini School POP』開発し発売。

★日本の古紙の品質優位をアピールするための動画を作成。

☆古紙再生促進センター代表理事にレンゴー副社長の長谷川一郎氏が就任。

□30日、香港の国家安全維持法が可決、施行へ。

□30日、「あおり運転罪」創設。

【7月】

□1日、レジ袋有料化スタート。

□4日、九州豪雨で死者77人。

☆大王製紙の三島工場でバイオマス発電設備が完成、FIT制度利用の電力販売を開始。

☆日本製紙が紙だけでパッケージができるヒートシール紙『ラミナ』のサンプル提供を開始。

☆日本製紙の紙製バリア素材『シールドプラス』がコスメ向け軟包材用途で初採用。

□16日、将棋の藤井聡太七段が最年少タイトル。

★28日、安全防災委員会が新明和工業の巻き込まれ被害軽減装置付パッカー車説明会を開催。

●28日、日本板紙組合連合会会長に松浦真左基氏が就任。

【8月】

●王子HDがマレーシア・南部地区に段ボール新工場を建設。稼働予定は2022年1月。

●製紙連が紙に関する広報用リーフレット「誤解を解く6つの真実」を作成、10万部配布。

☆王子HDが新パルプモールド『PaPiPress』サンプル提供開始。

□28日、安倍首相、持病悪化を理由に辞任表明。

【9月】

☆丸紅グループが購入電力のCO2フリー化推進並びに温室効果ガス排出削減目標を発表。

●日本製紙が抗ウイルスと抗菌・消臭機能をもつ変性セルロースを用いた印刷用紙『npi 抗ウイルス上質』上市。

□16日、菅首相誕生、新内閣発足。

【10月】

□16日、アニメ映画「鬼滅の刃」公開、興行収入100億円突破。

●日本製紙クレシアとトライフがタオル用紙の営業機能を統合。

☆古紙再生促進センターが「紙リサイクルセミナー」開催、同時・録画のネット配信も実施。

★需給委員会が、コロナ対応で中止した商社情報交換会を代替して、国際調査事業に参画する各商社からのレポートを考察し広報誌「かんとう」209・210合併号に掲載。

【11月】

□7日、米大統領選でバイデン氏が当選確実。

●紙パ各社でコロナウイルス感染者が発生。

●日本製紙が釧路工場の紙パ事業撤退を発表。

●レンゴーが連結子会社を再編。

●三菱製紙が約5億円を投じ、高砂工場にメルトブロー不織布とマスク製造設備を新設。

☆環境関連の展示会、エコプロが「エコプロonline 2020」として初のオンライン開催。

□25日、サッカーのマラドーナ氏が60才で死去。

【12月】

□6日、日本の小惑星探査機「はやぶさ2」カプセル帰還。

☆製紙連が2030年度目標の「低炭素社会実行計画フェーズⅡ」策定。

●22日、大王製紙社長に若林頼房氏が内定。

★8日、六地区懇談会をwebで開催。

2021

(令和3年) (平成33年)
(昭和96年)

単位: t

紙・板紙国内消費: 22,752,000

古紙回収量: 18,457,145

回収率: 81.1%

古紙消費量: 16,134,908

利用率: 66.0%

古紙輸出量: 2,366,000

【全般の状況】

コロナ禍はひき続き猛威をふるい、行動規制により経済は悪影響を被った。オリンピックは史上初の無観客開催となった。

【1月】

□トランプ米大統領支持者が議事堂占拠するも、米大統領にジョー・バイデン氏が就任。

●丸住製紙が衛生用紙事業拡大に向け、委託への加工機増設と、大江工場へのウェットティッシュ・ペーパータオル加工設備の新設を発表。

☆RPF製造職種が外国人技能実習制度の認定職種に追加。廃棄物関連の職種では初の追加。

【2月】

□ミャンマーで国軍クーデター。

□新型コロナワクチン接種開始。

●13日夜半、福島県沖で最大震度6強の地震発生。日本製紙・岩沼工場が暫く操業停止に。

●丸紅紙パルプ販売が丸紅フォレストリンクス㈱に社名変更へ。

☆日本製紙が木質バイオマス高配合の樹脂複合材料、トレファイドバイオコンポジットを開発。

●10日、三菱製紙会長に武田芳明氏が内定。

【3月】

□23日、日本のコンテナ船がスエズ運河で座礁。

☆日本製紙が浜松市で地元企業・団体と共に使用済み紙容器のリサイクル実証試験事業開始。

●レンゴーが大興製紙の再生支援で、管財人と合意書を締結。

☆國光が丸紅ペーパーリサイクルとの合併会社、ウエルを完全子会社化。

☆製紙連が環境啓発パンフ第2弾を発行。

●特殊更紙工業組合が解散。

●東北大学の研究グループと日本製紙が共同でCNFの大容量蓄電池効果を世界で始めて発見。

【4月】

□11日、ゴルフの松山英樹がマスターズ優勝。

●日本製紙クレシアがトイレット紙を長尺タイプへ移行。

☆レンゴーのセロファンが海洋生分解認証「OK Biodegradable MARINE」を取得。

●1日、王子マテリア社長に森平高行氏、王子製紙社長に船田高男氏、王子エフテックス社長に島崎克彦氏が就任。

【5月】

★関東商組第58回通常総会を5月20日、組合事務所にてWeb会議で開催。

Web参加38名、会場参加7名。来賓として経産省、古紙再生促進センター、製紙連、東京都中小企業団体中央会、関東資源回収組合連合会がWebで参加。古紙紙再生促進センター・川上正智専務理事による(過去・未来「20年とは」～変化の加速～)をテーマに講演が行われた。

☆全原連第44回通常総会を5月27日、組合事務所でWeb会議で開催。Web参加33名、会場参加6名。

●世界的なパルプメーカーのセニブラが、王子グループの100%子会社に。

●日本製紙石巻工場N6抄紙機を22年5月末で停止、23年度後半を目処に家庭紙事業へシフトを発表。

●2月の地震で一部停止中の日本製紙岩沼工場が全抄紙機復旧。

☆日本製紙、リプロ、萩原工業が共同で、飲料用アルミ付紙パックの再生利用拡大のためのビジネスモデルをスタート。

●兵庫パルプ谷川本社工場でチップサイロ火災。

●丸住製紙が川之江工場の4号抄紙機を21年11月末に停止へ。

【6月】

☆日本製紙がバイオマスマテリアル事業推進本部を新設。また八代市と連携し、古紙リサイクルの循環型システムを構築。

☆丸住製紙、大王製紙、日本政策投資銀行が「四国中央市カーボンニュートラル協議会」設立。

●丸住製紙が大江工場に衛生用紙の抄紙機と加工設備新設へ。2023年3月の完成を目指す。



2021年5月20日、関東商組第58回通常総会は組合事務所にてWeb会議で開催。



Web会議の画面の様子。

● 29日、興亜工業社長に井上淳氏が就任。

【7月】

□ 3日、静岡・熱海で土石流、死者・行方不明者 27人。

★古紙持ち去り行為禁止法令に係る資源リサイクル推進議員連盟試案への対応として関東商組の意見を取りまとめ、20日の理事会で報告、全原連へ提出。

● 7日、日本製紙・秋田工場で火災発生。人的被害は無し。

☆日本製紙がストロー不要の学校給食用牛乳パック『School POP』の生産体制を3工場に拡大。

☆共栄紙業が関西製紙原料事業協同組合の事業を継承、グループ会社「関西製紙原料㈱」設立。

☆海洋プラごみ問題に取り組む企業連合 CLOMA が「CLOMA フォーラム 2021」をオンライン開催。

□ コロナ第5波、デルタ株猛威。

□ 23日、第32回五輪開幕。東京など6都道県で無観客開催。

【8月】

□ 15日、アフガニスタンでタリバンが首都制圧。

☆愛知県古紙協同組合が設立50周年で記念式典、記念誌発行。

【9月】

□ 北朝鮮、相次ぎミサイル発射。

□ 中国の不動産大手「中国恒大」が経営危機。

★古紙リサイクルアドバイザー認定試験、8社46名が合格。

☆日本製紙が富士工場内に使用済み食品・飲料用紙容器のリサイクル設備導入へ。

● 北越 Co が新潟工場の2号抄紙機を22年6月に停機へ。

□ 29日、自民党総裁に岸田氏、首相に就任。

【10月】

★組合ホームページがリニューアル、スマホ対応に。

● 王子HDがインドの段ボール製造販売会社を買収。

● 日本製紙と特種東海製紙が協業体制の強化で覚書を締結。

☆大王製紙が三島工場の石灰焼成キルンで、バイオガス・天然ガス・重油の混焼により重油使用量約40%、CO2排

出量3.4万t-CO2/年の削減を実現。

★ 10月15日、古紙再生促進センター主催による「紙リサイクルセミナー」開催。コロナ感染拡大防止のため、都内の会場で50名に限定、同時にYouTubeでライブ配信を約140名が聴講。

★ 15日、銀座で東京都中小企業団体中央会会長表彰。関東商組から組合功労者として朝倉行彦副理事長、近藤豊副理事長、金澤基彦理事が表彰状を授与。

【11月】

□ コロナ新変異株「オミクロン株」世界で感染拡大。

□ 13日、将棋・藤井聡太さんが新竜王、最年少四冠に。

● 製紙各社より印刷・情報・産業用紙を始め多様な品種の値上げ発表が相次ぐ。

● 令和3年の叙勲で、旭日重光章に芳賀義雄・元日本製紙代取社長、旭日双光章に矢倉義弘・全国製紙原料商工組合連合会副理事長が受賞。

● 「第40回大王製紙エリエールレディスオープン」が2年ぶり有観客開催、原英莉花が優勝。

□ 18日、大谷翔平がメジャー MVP に選出

【12月】

★ 14日、六地区懇談会をwebで開催。☆王子HDが補強繊維にセルロース使用のセルロースマット開発、サンプル提供を開始。

□ 23日、コロナ治療薬「モルヌピラビル」緊急使用許可。

2022

(令和4年)^(平成34年)
(昭和97年)

単位: t

紙・板紙国内消費: 22,505,862

古紙回収量: 17,892,058

回収率: 79.5%

古紙消費量: 16,045,467

利用率: 66.3%

古紙輸出量: 1,833,000

【全般の状況】

2月末に始まったロシアのウクライナ侵攻により、前年から続く海上輸送の混乱に拍車がかかり、原油高・資源高から急激な物価高が起きた。コロナ禍はひき続き、夏から秋にかけても感染第8波が広がったが、行動規制は

徐々になくなり、家庭紙では需要の回復も見られた。

【1月】

★新年賀詞交歓会はコロナ感染症の影響で中止。

● 丸住製紙は川之江工場3号抄紙機を23年2月末で停止予定。

【2月】

□ 4日、北京五輪開催、日本勢のメダル冬季最多獲得。

□ 11日、藤井聡太竜王が最年少五冠に。

● 日本製紙とElopakが包括的協業覚書を締結。

☆王子エフテックスが循環資源混抄紙「MEGURISH(綿)」を開発。

□ 25日、原油急騰100ドル突破。

□ 26日、ロシアがウクライナへ侵攻開始。

【3月】

□ 3月～6月、中国・上海市がコロナ感染症で都市封鎖。

☆北越 Co は東京産業、東京エネシス、SHICHIJOとともに「合同会社津こもれび発電所」に出資、バイオマス発電事業へ参画。

● 大王製紙はCNF複合樹脂の製造技術の確立を目的に三島工場にパイロットプラントを設置。

【4月】

★広報誌「かんとう」216号で古紙持ち去り行為撲滅の取組状況を報告。

● 王子HD社長に磯野裕之氏。

● 三菱製紙社長に木坂隆一氏。

□ 23日、知床観光船沈没事故。

【5月】

★ 25日、関東商組第59回通常総会をアートホテル日暮里で開催。3年ぶりの対面総会となる。

大久保信隆理事長を再選。総会後は古紙再生促進センター専務理事・川上正智氏の「中長期的な課題整理に向けて～Beyond 2024～」を講演。

☆ 19日、全原連第45回通常総会がニューオータニ大阪で開催。

栗原正雄理事長が再任、講演会では中部商組の石川喜一郎氏が、雑がみ利用促進検討委員会の結果を報告。

● 大王製紙が可児工場へ家庭紙用の抄紙機、岐阜県の新工場へ加工機を増設

する計画を発表。

●レンゴーが抗ウイルス段ボール「ウイルスレンガード」発売。

●三菱製紙が国産針葉樹を100%原料とする晒クラフトパルプ (NBKP) の生産販売を開始。

【6月】

★古紙リサイクルアドバイザー試験を6月4日・11日に実施。

★古紙再生促進センター企画「自治体新人廃棄物担当者向け研修」Webセミナーを配信。

●日本製紙はカップ原紙事業強化のため、興陽工場の2号抄紙機を11月末に停機、23年度後半に同機をカップ原紙の塗工専用設備に改造すると発表。

●大王製紙とリブドゥコーポレーションが使用済み紙おむつのリサイクル事業に関する共同研究を開始。

【7月】

□8日、安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬。

□15日、国内の新型コロナ感染者が1日あたり10万人を超える。

【8月】

□9日、大谷翔平がルース以来の2桁勝利、2桁本塁打。

☆レンゴー尼崎工場においてバイオマス焼却設備が竣工。

●大王グループがサントリーグループと共同で長距離輸送効率化の新たな取り組みを開始。

●大王製紙のCNF素材を実装した電気自動車がチーム・SAMURAI SPEEDで米国内レースに参戦、12台中9位で完走。

●日本製紙は23年度を目処に秋田工場のN1マシン停機および5号ボイラー停止を検討する。

□27日、新型コロナ感染が世界で6億人突破。

【9月】

□8日、エリザベス英女王死去。

☆大王製紙と東邦ガスは大王製紙可児工場の薬品回収設備「石灰焼成キルン」の燃料である重油を都市ガスに転換し、バイオマスガスとの混焼を実現。

★15日、経営革新委員会が島根県の松江バイオマス発電㈱、RPF製造の三光㈱江島工場を見学。

【10月】

□4日、ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王を達成。

★広報誌かんとう218号発行。特集「関東商組のSDGs」

★13日、古紙再生促進センターが令和4年度「紙リサイクルセミナー」を会場とWeb配信のハイブリッドで開催。

●国際紙パルプ商事がホールディングス体制へ移行。

☆大王製紙は製造残渣を紙の原料に再利用するシステム「Rems」の立ち上げを発表。

☆レンゴーが利根川事業所に発電用バイオマスボイラーを新設。

□20日、32年ぶりの円安、1ドル=150円突破。

□旧統一教会が政治問題化、文科相が質問権行使。

□23日、中国で習近平総書記の3期目政権発足。

□31日、イーロン・マスク氏、ツイッター社買収完了。

□韓国の梨泰院で雑踏事故。

【11月】

□16日、国連が世界人口80億人超えを発表。

★14日、六地区懇談会を浅草ビューホテルで3年ぶりに開催。

●北越Coが家庭紙の生産設備建設計画の一旦凍結を発表。

☆特種東海製紙は子会社の新東海製紙島田工場で稼働する10号バイオマスボ

イラーを廃棄し、新たにバイオマスボイラーを建設すると発表。

【12月】

●王子HDと新タック化成は「環境に配慮した遮熱ウィンドウフィルム」を開発。

●日本製紙はCNF配合天然ゴム「Cellenpia Elas」のサンプル提供を開始。

2023

(令和5年)^(平成35年)
(昭和98年)

【1月】

★19日、関東商組が新年賀詞交歓会を開催。3年ぶりの開催となった。

☆26日、全原連が新年賀詞交歓会を開催。こちらも3年ぶりの開催となった。
☆座間市で官民一体プロジェクトのミックスペーパーリサイクル開始。

【2月】

●日本製紙がバイオエタノール生産で合意。国産材由来、27年度から。

【3月】

●王子HDが欧州で液体紙容器事業。

【4月】

☆名古屋で紙製容器包装と雑がみの一括収集を開始。防水加工品や臭い・汚れあるものを除きリサイクルする。

●丸住製紙が大江4号抄紙機稼働。年産2万6千t、高品質な衛生用紙製造。
☆KJMK、機密情報抹消セミナー開催。

【5月】

□8日、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類から5類に移行。

★18日、関東商組総会と創立60周年記念式典を開催。



循環型社会形成に貢献した10年

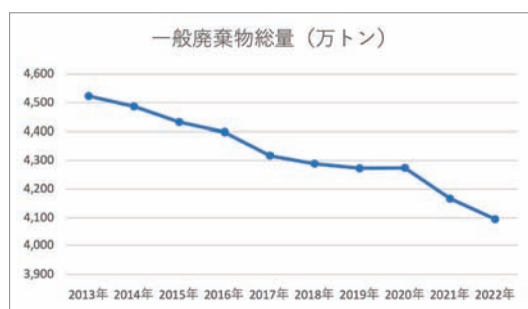
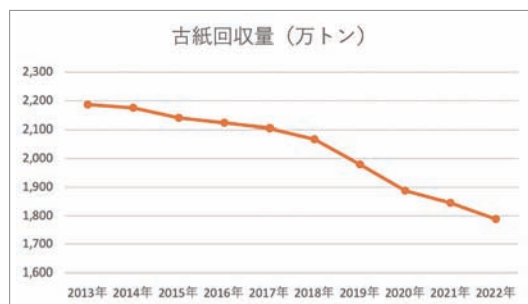
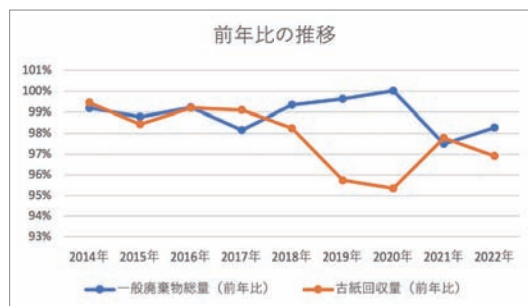
大量生産、大量消費、大量廃棄から、持続可能な社会経済に移行するには、国民が、態度変容、行動変容を起こすに十分な脅威と機会が必要でした。ゴミ問題は、喫緊の社会課題でした。(1990年から2013年頃のこと)

課題解決策として行われた、リデュース、リユース、リサイクルは、ゴミ減量に大きな成果を上げました。混ぜればごみ、分ければ資源。古紙はごみじゃない。古紙卸売業は、社会課題解決に大いに貢献しました。しかし、数量の減少は事業継続を難しいものにしています。グラフ(10年間の推移)をみると、古紙と廃棄物の双方を減らしたことがわかります。10年間で、古紙回収量は20%減り、一般廃棄物総量は10%減りました。20%と10%の差は、2019年2020年の2年間に起きました。前年比の推移グラフを見ると2019年4%、2020年5%の乖離となっています。この2年間に何が起きたのかは謎です。

原稿締め切りのため調査・分析をする時間がありません。後日、挑戦したいと思います。

さて、大きく減少させた要因はリデュースです。消費抑制、生産、流通でのロス削減、消費者のロス削減などによるものです。リデュースとGDPゼロ成長・デフレ経済は、相関していると考えられます。紙板紙生産量と古紙回収量の減少と循環型社会移行が、同時期に起きたことを、とても複雑な思いで受け止めています。

世界の人口は80億人(2023年)。2050年に97億人に増える推計です。増え続ける人口は、資源不足を招きかねません。自制できない経済・社会になった場合、それが国家間の資源争奪戦



に及ぶことも考えられます。地球上には、枯渇資源、更新性資源、再生資源の3つがあります。枯渇資源と更新性資源輸入国の我が国では、再生資源を高度に利用することが求められています。再生資源の供給速度を上回る資源消費は、再生資源の価格上昇と枯渇資源などの消費を増やすことになります。単に再生原料の使用率を高めるだけではなく、このような供給と消費の制御も高度利用に含まれます。

循環経済(サーキュラーエコノミー)とは、資源やエネルギーの消費や廃棄物発生を無くしながら、かつその循環の中で付加価値を生み出すことによって、経済成長と環境負荷低減を両立することです。循環経済は、自制できた経済・社会であり、再生資源は、もっとも重要な要因です。これからの10年は、量を増やすことを目指した経営から、自制する経済・社会の実現を目指す経営に変えていくことになりそうです。

(編集人/斎藤大介)

60th 循環型社会の形成をめざして

Anniversary

(株)青木商店

(株)赤松商店

新井紙材(株)

(株)新井商店

飯野紙業(株)

(株)育峯紙業

市川紙原(株)

(株)市川商店

井出紙業(株)

(有)茨商

(株)今井

(有)植田商店

(株)ウェル

ウブカタ資源(株)

王子浮間古紙センター(株)

王子斎藤紙業(株)

(株)大久保

大村紙業(株)

奥山商店(株)

(株)海原

(株)梶谷商事

(株)粕田商店

(株)金澤紙業

(株)兼子

(株)金子商事

(株)川鈴

河村商事(株)

関東紙業(株)

(株)木下

(株)木場リサイクル

(株)共益商会

(株)工藤商店

(株)久米川紙業

栗原紙材(株)

(株)グリーン

グリーンロジテック(株)

(株)小池商店

こづか(株)

(株)國光

(株)近藤商店

(株)こんの

(株)斎藤英次商店

(株)斎藤久七商店

(株)齋藤商店

(有)斎藤宏商店

(有)榊原商店

(株)佐久間

(株)山愛

(株)三栄サービス

三弘紙業(株)

紙材開発(株)

(株)清水

(株)清水商店

(株)シムラ

(株)下田商店

(株)ジャパングリエイティブル

新日本資源(株)

(株)須賀

関口商事(株)

(有)曾根商店

(株)高岡

(株)タカハラ

(株)玉川商店

(株)タンザワ

千葉紙業(株)

(株)坪野谷紙業

(株)ツルミ紙業

(株)土井商店

東京紙業(株)

東京資源(株)

東日紙商(株)

(株)東北紙業

東名紙材(株)

(株)富澤

(資)豊田八郎商店

(株)中商

(株)中田

永田紙業(株)

(株)ナコジ

日興紙業商事(株)

(有)根本商店

(株)ハイグレード

(株)パルコム

(株)平松商店

福田三商(株)

(株)藤川紙業

(株)富士商会

(株)ブシュー

(株)二見

豊商産業(有)

北越パレット(株)

(有)北信紙業

(株)前原紙業

(株)増田商店

松岡紙業(株)

(株)丸栄商店

(株)丸興佐野錦一商店

(株)丸十商店

(株)丸忠

(株)マンモスエコロジー

(株)水越

皆川商事(株)

美濃紙業(株)

(株)宮崎

むさし野紙業(株)

(株)村松紙業

(株)もっかいトラスト

(株)茂原紙業

森田紙業(株)

(株)山田洋治商店

(株)山博

(株)山室

(株)ヨシカワ

(株)和光

(株)藁科商店

(組合員 115 社 50 音順)

